

かんざき給食だより

神崎市学校給食共同調理場

2022. 7 . 1

7月号 (No. 4)

生産者さんの畑を見学してきました！

昨年度より地元でとれた小松菜を納めていただいています。先日、生産者の方の畑にお邪魔して、お話を聞いてきました。

木本農園(千代田町直鳥)

○採れる時期・・・1年中

夏期30日冬期70日くらいで出荷できるそうです。少しずつ植える時期を変えて1年中注文された量が採れるようにされています。

○1年間の生産量・・・60トン

ハウスは78棟ありました！
(ハウスの大きさ 横6m 奥行き48.5m 高さ3.25m)

神崎の集荷場に運んで、佐賀の青果市場だけでなく、大阪や北九州、佐世保の青果市場にも出荷されています。10人前後の方が毎日働かれています。

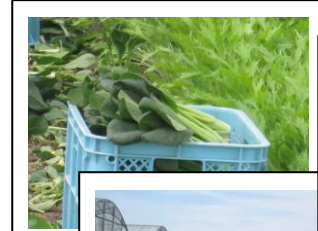
○1日の生産量・・・2400kg (春期 多い時)

○小松菜を育てる上での苦労

ここ数年、夏の水害でハウスが水に浸かってしまい、出荷できなくなったことが大変だったと話されていました。

○生産者の方から一言

日本の農業を支えるために、日本でできたお米や野菜をたくさん食べてください！



畑は千代田中学校の北西にあります。



種が病気になるように消毒した印として色がつけられています。



種を蒔いて2, 3日後



種を蒔いて1週間後



ハウスの中の気温が上がらないように寒冷紗がかけられています。



給食用の小松菜を準備されていました。7月は1日・6日7日・15日に使います。



根こぶ病になった小松菜連作障害でこの病気になりやすいそうです。